

## 新会長挨拶

新会長としてご挨拶させていただきます。

私の今年度のテーマは

「サークル代表者の持ち回り運営が一巡後の尾北シニアネットをどうするか  
の議論を役員・サークル代表者会議で始めることです

15年前の

2002年2月16日	65名参加で尾北シニアネット発足
2003年6月17日	NPO法人尾北シニアネット発足
2012年3月31日	NPO解散臨時総会 (8年9か月)
同日	任団団体 尾北シニアネットでスタート

NPO 尾北シニアネットの解散が決まった時、このまま終わりにしたくない何とかしよう  
と言う声を受けて決めたのがサークル代表者で任意団体への移行でした。

NPO 時代サークルは 16 団体ありましたが、趣旨に賛成して残ったのが 8 名でした。  
我々 8 人は継続しやすい単純な運営を目指し会計、副会長、経験して会長を担当すると  
決めました。

順番の初年度は行動力、突破力のある奥村さん それ以降はくじ引きで決めました。

1 期目は奥村さん、2 期目は鈴木さん、3 期目は各務さん、4 期目は大倉さん、  
5 期目が杉本さん、そして 6 番バッターが私であります、  
7 期目が五十嵐さん、8 期目が能祖さんと決まっています。

そしてただ 1 人 任意団体に移行後に勇気をもってサークルを立ち上げて加わった  
平尾さんが 9 期目の予定です。

後半の担当に入った今から将来のシニアネットを考え始める必要があります。

ここにひとつの資料があります。会員の年齢構成です

29 年 3 月 31 日現在の会員数は 208 名です。平均年齢 75.6 歳となっていますが  
現在の会員の最高齢昭和 2 年生まれ～11 年生まれの 10 年間を第 1 世代

昭和 12 年～16 年生まれの 5 年間を第 2 世代

昭和 17 生まれ～31 年生まれの 14 年間を第 3 世代としました。

皆さんも自分の分類を意識してお聞きください。

最近大正 15 年生まれの会員退会依頼で最年長が昭和 2 年になりました。

第 1 世代 昭和 2 年生まれ～昭和 11 年生まれ 10 年間で 41 名 全体の 20%です。

第 2 世代 昭和 12 年生まれ～16 年度生まれのたった 5 年間で 98 名 47%です。

第 3 世代 昭和 17 年生まれ～31 年生まれの 14 年間の会員は 69 名 33%です。

(お一人 43 歳の会員があるが第 3 世代は 61 歳～74 歳で 14 年間とした)

そして 平尾さんを除く サークル代表者の 7 人とも第 2 世代です

何が言いたいかと言うと第2世代が5年間で47%を占める多くの会員がいる背景には尾北シニアネット誕生当時は、爆発的なパソコンブームになる背景があったということです。当時は60歳定年が主流で年金は61歳で満額支給でした。我々の年齢の多くは会社でパソコンを触っておらず電算機又はオフィスコンピューターの時代でしたが世の中はパソコンの時代になり、ウィンドーズ95から98へそしてXPと進化して発売ごとに大きなニュースになり音楽や映像も楽しめる魅力に短期間に入会者が集まりました。

そして又、第2世代 昭和12年度生まれ～16年度生まれの退職者達は高度成長期に企業戦士として家庭も地域も顧みず定年になり、急に人脈を失いシニアネット入会が友達探しにつながり大きく役立ちました。

ここで尾北シニアネットのスタート時代の活気を振り返ってみましょう。

6月26日 杉本さんが 第1回ゴルフコンペを開催 ゴルフサークル誕生です

6月30日 オフ会を高田さん発起人で 蟹工船で開催

7月14日 日比野嘉雄さんをリーダーに奥村さんを進行役にパソコンの勉強会がデジカメ教室の名称で48名の参加者でスタート 第2回から布袋北学供に場所を移し以降11月27日までに19回開催して 翌年からのPC塾に発展しました。

7月28日 江南市のIT講習会が始まり17名が講師・講師補助が参加しました。

10月26日 江南市福祉会館でパソコンちょっと相談がはじまりました。

(情報センターでパソコン初心者相談が始まったのは翌年の11月でした)

10月26日 NPO法人への申請について1回目の意見交換会

11月20日 大矢田神社へ紅葉狩りと温泉のバスツアーを開催

12月17日 デジカメ写真展と第1回忘年会 すいとぴあ江南で開催

和室大広間にいっぱい80名位の参加者だったと記憶しています

翌日はお礼と感動したとのメールが飛び交いました。

初年度で会員数は200名に迫る勢いでした。

翌年2003年6月17日 申請が受理されてNPO法人尾北シニアネット発足

2003年7月29日 空き店舗活性化事業を利用してふれあいプラザを開所しました。

すごい盛り上がりでした。 あれから15年です・・・・・・・・・・・・・・・・

時代は変わりました。発足の時はシニアネットの平均年齢は63歳だったと記憶していますが、当時60歳だった私も今は75歳サークル代表者で一番若い私もついに追いついてしまいました。

あれから15年・・・・ 60歳から年金が満額受給できたのが今は65歳

退職年齢60歳が多かったのが今は65歳、その後も継続して働く希望者が増加。

専業主婦の時代から共稼ぎが普通の時代に、パソコン操作を知らなかった世代から今の退職

者は少なからず操作ができる時代になりました。  
企業も団体も時代の変化に対応できなければ生き残りや継続はできません。  
私が誇りに思っている第2世代はもう古くなりました。  
第2世代のサークル代表者が運営を担う事は終わり次を考えようと言うことです。

そんな中で昨年尾北シニアネットに新しい期待が生まれました。  
「シニア情報生活アドバイザー養成講座実施団体の認定取得」です  
将来日本郵便(株)「高齢者見守りサービス」事業の支援要請がある場合はアドバイザー  
資格者がアイパット講習等を実施する夢が生まれたということです。  
日本郵便の社員の教育を担当できるかもしれないのです。  
第3世代によるシニアネット運営にスムーズに移行することが尾北シニアネットの継続に  
必要なことだと考えます。じっくりと議論をして合意形成が課題と考えています。

話は脱線しますが、シニアネットにおいてパソコン以外ですごく役立つことがあります  
少し先の自分が見えることです。70歳ぐらいになると癌になる人が多くなるな  
でも癌も手術療法、抗がん剤、放射線医療、免疫療法などあって死ぬ人は少ないな  
75歳ぐらいになると耳が聞こえなくなる人が増えるな  
80歳ぐらいになると海馬が縮小して記憶障害が進むな、運転が危なくなるな～  
自分の未来が見えて予測できることは安心です。

本日は60名の参加でした。208名の会員にしては多くはありませんが  
ここに参加の方は元気で参加できた方です。  
参加したくてもできなかった人もメールが見られなくなっている方もあるでしょう。  
今年も2年前から始まったセミナーを開催します。私にはやりたいテーマがあります。  
講師の予定や予算の関係で実現はわかりませんが開催できれば皆さんに役立つ筈です。

又、五十嵐副会長も、忘年会か新年宴会かはたまた季節にとらわれず懇親会のタイトルにな  
るかはわかりませんが、すでに行き先など検討に着手しておられます。  
その折には今日ここに出席の皆さんは揃って参加していただきますようお願いして  
私のご挨拶は終了します。

平成29年4月24日  
佐橋 康弘